

オーダーメイド式耳あな型補聴器

耳あな型 EY

リサウンド・エンヤ™

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310

一般のお客様電話番号 0120-921-102

FAX番号 0120-636-392

受付：月曜～金曜 午前8時～午後5時30分

(土日祝日、年末年始は休み)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい6-3MM/パークビル8F

認証番号 227AFBZX00126000

KTG0846 EY 01 1809G-18092K

ReSound GN

目次

はじめに

安全上のご注意

- 製品概要
 - 各部の名称と役割
 - 音量調節
 - プログラム変更
 - 電話での使用
 - スムーズホンの使用
 - 耳あか、または異物の集積が明らかな場合
- 電池使用上の注意
- 故障かな?と思ったら
- 性能表
- 音響諸特性
- アフターサービス

はじめに

この度はリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

この取扱説明書では、各器種を以下のように呼びます。

	リサウンド・エンヤ4	リサウンド・エンヤ3
CICタイプ	EY4CIC LP	EY3CIC LP
	EY4CIC MP	EY3CIC MP
	EY4CIC HP	EY3CIC HP
	EY4CIC UP	EY3CIC UP
ITCタイプ	EY4ITC-W LP	EY3ITC-W LP
	EY4ITC-W MP	EY3ITC-W MP
	EY4ITC-W HP	EY3ITC-W HP
	EY4ITC-W UP	EY3ITC-W UP
	EY4ITC-DW LP	EY3ITC-DW LP
	EY4ITC-DW MP	EY3ITC-DW MP
	EY4ITC-DW HP	EY3ITC-DW HP
	EY4ITC-DW UP	EY3ITC-DW UP
ITEタイプ	EY4ITE-W MP	EY3ITE-W MP
	EY4ITE-W HP	EY3ITE-W HP
	EY4ITE-W UP	EY3ITE-W UP
	EY4ITE-DW MP	EY3ITE-DW MP
	EY4ITE-DW HP	EY3ITE-DW HP
	EY4ITE-DW UP	EY3ITE-DW UP

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

△警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

○禁止 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

【禁忌・禁止】

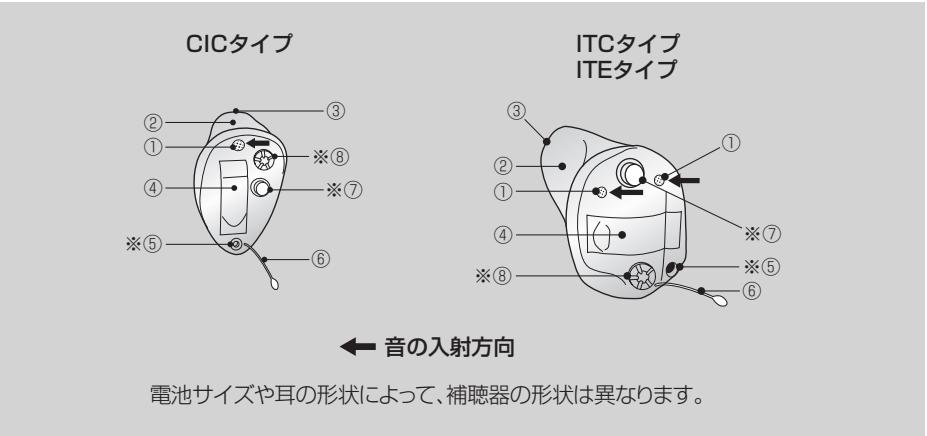
- 次の場合、補聴器を使用しないでください。
 - 耳を治療中の場合
 - 耳の中に痛みがある場合
 - 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合
 - 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
 - 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
 - 補聴器からビービー音が発生するハウリング状態で使用し続けると聞こえを悪くすることがあります。
- 大きな音で聞き続けるとさらに聞こえを悪くすることがあります。
- 【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

 - 治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずさかどうかお尋ねください。
 - 耳漏が生じたとき
 - MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないください。事故や故障の原因になります。
- 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - 治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずさかどうかお尋ねください。
 - 耳漏が生じたとき
 - MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないください。事故や故障の原因になります。
- 使用上の注意
- 電池使用上の注意
- 故障かな?と思ったら
- 性能表
- 音響諸特性
- アフターサービス

1 製品概要

1-1. 各部の名称と役割



- 音の入口 音声を集めるためのマイク
- ②シェル 耳の中に入れる部分。装用者の耳の形からオーダーメイドで形成
- ③音の出口 本体内部で增幅された音声を外耳道に導く
- ④電池ケース 電池を収納する
- ⑤ベント 外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させる
※聴力によっては付かない場合あり
- ⑥テグス 補聴器を取り出すときのつまみ
- ⑦プログラム選択ボタン（※オプション） プログラムを切り替える（選択する）際に使用
- ⑧ボリュームコントロール（※オプション） 音量の調節を行う

1-2. 付属品一覧（携帯用ケースを除く）

※ □にチェックマークをして、ご使用前にご確認ください。

① 電池（1個）

CICタイプ	PR536/10	ITEタイプ	PR41/312またはPR48/13（選択式）
ITCタイプ	PR41/312		

※ 両耳で購入された場合、電池は2個、耳あかガードは2ケースになります。

② □耳あかガード（1ケース）

（選択する耳あかガードの種類によって交換用の耳あかガードが付属するものと付属しないものがあります。詳細はお買い求めの販売店までお問い合わせください。）

③ 耳あか掃除ブラシ（1本）

④ 乾燥ケース（1個）

⑤ クリーニングクロス（1枚）

○ オプション(別売)

⑥ マグネット（スマーズホン用）

□

□

□

○ オプション(別売)

⑥ マグネット（スマーズホン用）

□

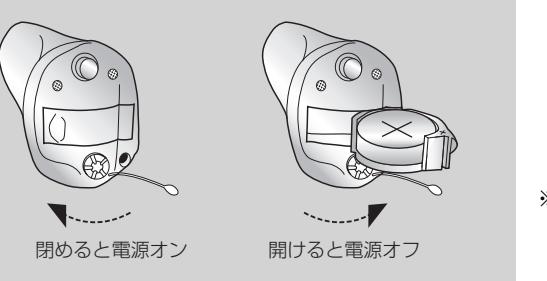
□

□

2 基本的な使い方

2-1. 電源の入れ方／切り方

電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。



電源投入時の設定
●「プログラム1」
●初期設定の音量

※ 電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

電源投入時の設定
●「プログラム1」

両耳連動機能使用時 販売店で設定可能 オン／オフ
片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。

■ フライトモード（ワイヤレス機能使用時）

搭乗中に電波の使用を禁じられている飛行機内や、無線送信および電波を発する機器の使用が禁止されている場所では、補聴器をフライトモードに設定してワイヤレス機能をオフにしてください。

■ フライトモードの設定方法

- 電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。
- もう一度電池ケースを閉じてください。「ボボーン、ボボーン、ボボーン…」というお知らせ音が鳴ると設定完了です。
- もう一度電池ケースを開けてください。

■ フライトモードの解除方法

- 「ボボーン」というお知らせ音が鳴り終わってから、10秒以上待ってください。
- 電池ケースを一度開け、閉めてください。
- 「ボボーン」というお知らせ音が鳴る場合は、①からもう一度行ってください。

2-2. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなると、電子音（ボボボボーン）が15分おきに繰り返し鳴り、補聴器の電源が自動的に切れます。電子音が鳴りましたら、新しい電池と交換してください。予備の電池を常に携行することをお勧めします。

販売店で設定可能 オン／オフ

■ ワイヤレスアクセサリー（オプション）使用時

ワイヤレスアクセサリー使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなる前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリーが使えなくなります。新しい電池に交換すると、ワイヤレスアクセサリーは再び使用できます。

電池残量	お知らせ音	補聴器	リモコンユナイトII、携帯ユナイトII、マルチマイク、マイクロマイク
■ (多)	—	○	○
■ (少)	♪♪♪	○	○
■ (極少)	♪♪♪♪	×	×

2-3. 音量調節

音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。

ボリュームコントロール付きの補聴器の場合



ボリュームコントロール無しの補聴器の場合

- プログラム選択ボタン付き補聴器の両耳連動機能使用時は、プログラム選択ボタンで音量調節可能
- ワイヤレス対応の補聴器は、リモコンユナイトII、携帯ユナイトII、またはアプリで音量調節可能

※ ボリュームコントロールを回すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ボー」という音に変わります。

※ 電源を切ると、変更した音量は元に戻ります。

両耳連動機能使用時

販売店で設定可能 オン／オフ

片耳の補聴器の音量を変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。

2-4. プログラム変更

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。プログラム選択ボタンを押すたびにプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

販売店で設定可能

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ボーン	
プログラム2	ボーン、ボーン	
プログラム3	ボーン、ボーン、ボーン	
プログラム4	ボーン、ボーン、ボーン、ボーン	

△ 警告

(1)スマーズ

2-7. テレコイル（オプション）

本補聴器は、内蔵テレコイルのオプション仕様があります。テレコイルは、教室、公共施設、家庭などのピアリングループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただくことができます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

販売店で設定必要 専用プログラム

2-8. ワイヤレスアクセサリー

リサウンドのワイヤレスアクセサリーは、高音質のステレオ音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。

下記のワイヤレスアクセサリーがあります。

TVユナイトII:テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。

リモコンユナイトII:補聴器の音量調節や消音、プログラム変更などができる、すべての設定を一日で見ることができます。

携帯ユナイトII:通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなモコンとしても機能します。

マイクロマイク:話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れてても相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。

マルチマイク:マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。

詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。

* リサウンドのワイヤレスアクセサリーはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。

* ペアリング等のより詳しい使い方はワイヤレスアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装用者ご本人や他の人の危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

△ 警告

● お子様が触れないようご注意ください。

飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いします。

● 飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフしてください。

● スムーズボン用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。

マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようしてください。

● ハウリング（ピーピー音）にご注意ください。

補聴器がきちんと収まっている場合や、抜けかけて隙間ができる場合などには特にハウリングが起こりやすく、装用者に不快感を与えるばかりではなく、周囲の人にも迷惑をかけることになります。自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

● 補聴器を装用して炎症が生じたら…

この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用しているが、装用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。

● 低周波治療器電磁（IH）調理器などによって補聴器に雜音が発生することがあります。

● <使用済補聴器の処理方法>

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。

● 衝撃・熱を避けてください。

補聴器に強い衝撃をあてたり、落としたときに強い熱をあてたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。

● 補聴器はいつも清潔にしておいてください。

就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。

● 適切な音量でご使用ください。

必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。

● 補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。

この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらつてから装用してください。

● ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起きた場合には、その原因となるものから遠ざけてください。

△ 注意

● 補聴器を装用しても良く聞き取れない音もあります。

小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

● ハウリング（ピーピー音）にご注意ください。

補聴器がきちんと収まっている場合や、抜けかけた隙間ができる場合などには特にハウリングが起こりやすく、装用者に不快感を与えるばかりではなく、周囲の人にも迷惑をかけることになります。自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

● 補聴器を装用して炎症が生じたら…

この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用しているが、装用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。

● 低周波治療器電磁（IH）調理器などによって補聴器に雜音が発生することがあります。

● <使用済補聴器の処理方法>

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。

● 衝撃・熱を避けてください。

補聴器に強い衝撃をあてたり、落としたときに強い熱をあてたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。

● 補聴器はいつも清潔にしておいてください。

就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。

● 適切な音量でご使用ください。

必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。

● 補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。

この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらつてから装用してください。

● ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起きた場合には、その原因となるものから遠ざけてください。

△ 注意

● サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。

△ 禁止

● 補聴器を水に濡らさないでください。

補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔しならないでください。

● 補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。

● 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。

● 補聴器を他人にお貸しにならないでください。

補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わず聞こえにくばかりでなく、耳を痛める場合があります。

● 病院内の検査機器にご注意ください。

MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。

△ 注意

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

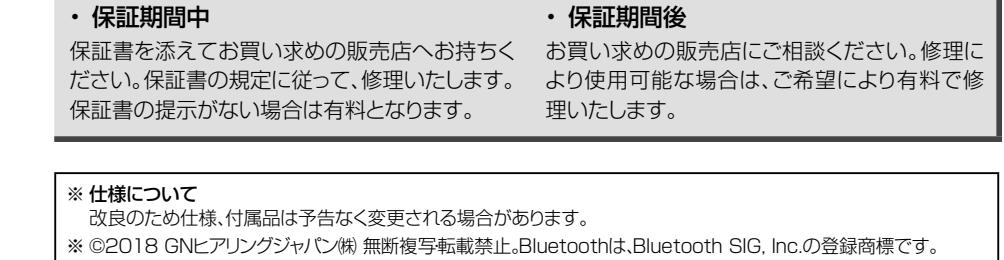
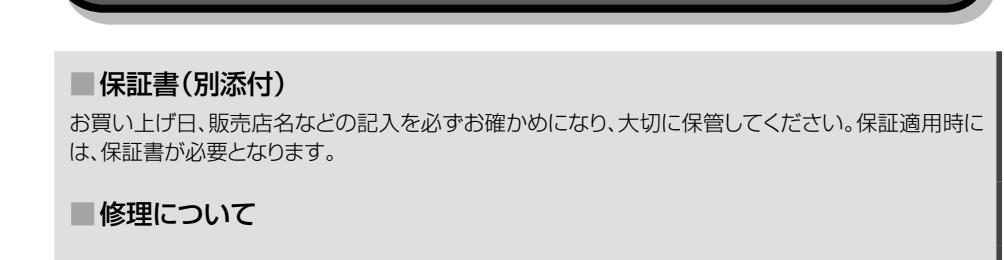
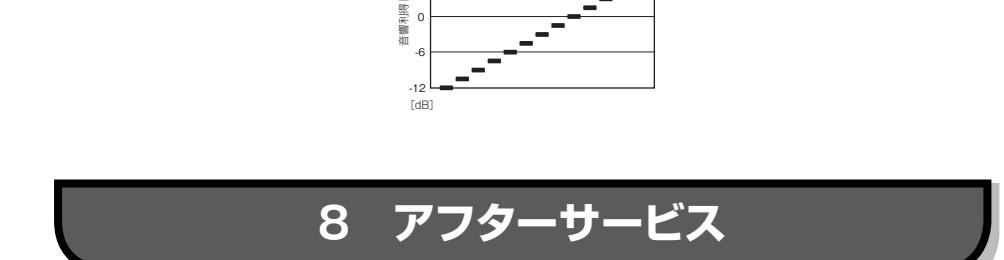
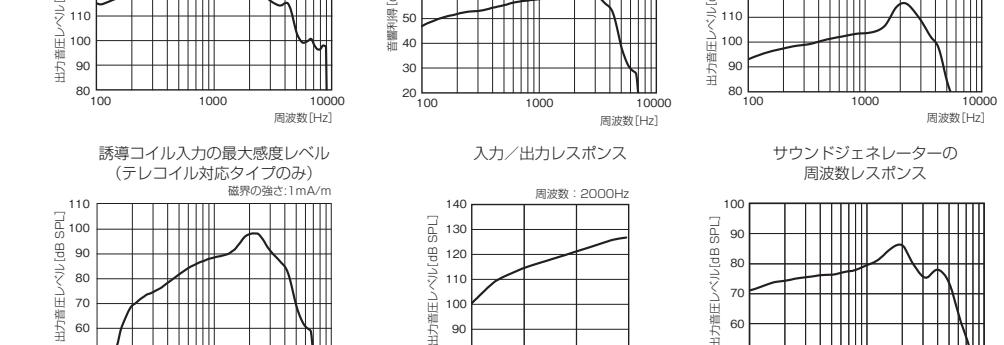
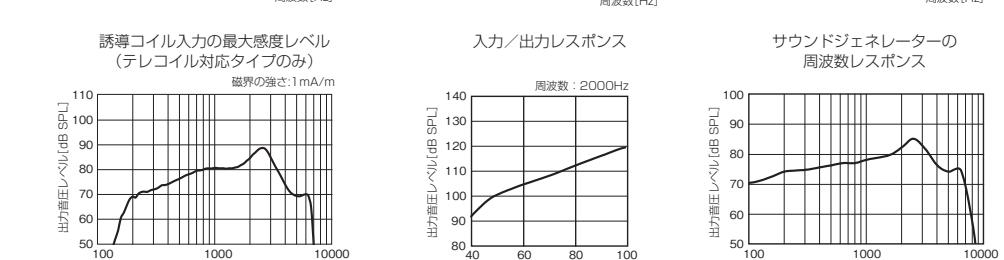
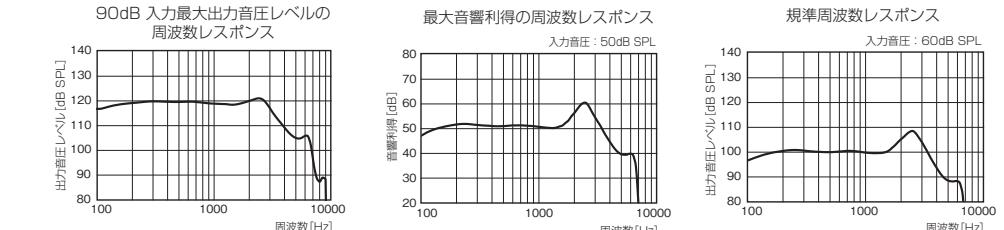
1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 一方、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変えるか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービスまでお問い合わせください。

6 性能表 2cm³ カプラ 測定規格：JIS C 5512:2015

性能表	表示単位	LP	MP	HP	UP
90dB入力最大出力音圧レベル 音圧レベル	HF-OSPL90 ピーク	±4dB SPL +3dB SPL以下	110 115	120 121	125 130
最大音響利得 音圧レベル	HFA-FOG ピーク	±5dB +3dB以下	38 40	54 60	63 70
等価入力音圧レベル		+3dB SPL以下	21	21	20
全高調波ひずみ	500Hz 800Hz 1600Hz	+3%以下 +3%以下 +3%以下	0.6 0.6 1.0	0.4 0.7 0.5	0.5 1.0 0.2
電池の電流	CICタイプ ITEタイプ	+20%mA以下	1.2 1.3	1.2 1.3	1.1 1.2
電池寿命(1.4V)	CICタイプ(PR536/10) ITEタイプ(PR41/312) ITEタイプ(PR48/13)	時間	75 125 200	75 120 205	80 135 230
標準周波数 レスポンス	帯域幅	Hz	100 - 6960	100 - 7110	100 - 6770
	規準利得(RTG)	dB	33	36	43
試験用ループに対する等価感度		±4dB SPL	—	0	0
誘導コイル入力の最大感度レベル (テレコイル対応タイプのみ)	HFA-MASL	±6dB SPL	—	74	83
定常状態入力特性 (2000Hz)	50dB入力 90dB入力	(70dBで正規化)	87 111	91 113	101 116
最大感度となる方向*	500Hz 1000Hz 2000Hz 4000Hz ピーク値	±5dB SPL ±5dB SPL ±5dB SPL ±5dB SPL	75 77 80 81	72 76 83 86	77 80 79 87
広帯域最大出力音圧レベル		±5dB SPL	91	91	92
使用目的、又は効果					
使用時の環境条件					
電擊保護					
輸送・保管条件					



4 電池使用上の注意

△ 注意

耳あな型補聴器

簡単ガイド

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社

販売店様専用電話番号 0120-921-310

一般のお客様電話番号 0120-921-102

FAX番号 0120-636-392

受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)

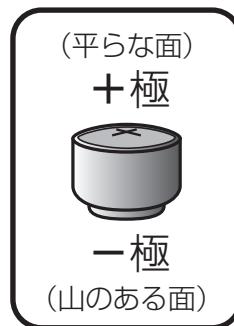
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MMパークビル8F

KTG0851 01 1809B-180910K

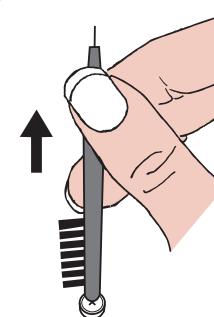
ReSound GN

電池の入れ方・出し方

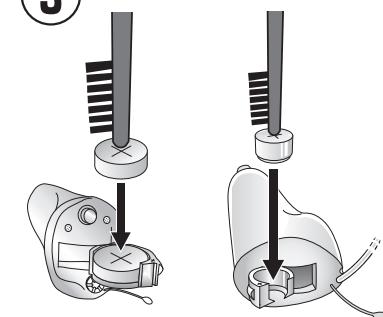
①



②



③



電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてください。

補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

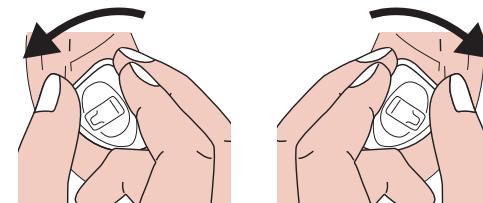
補聴器の着け方・外し方

耳あな型

①



②

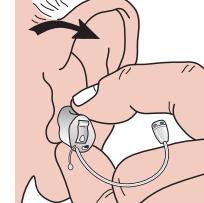


ベントもしくはテグスの位置が補聴器の下側になる向きで、3本の指で補聴器をつまみます。

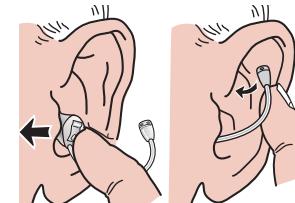
音の出口側を耳の穴に入れ、補聴器を矢印の方向(前から後ろ)へ少しねじりながら、耳にピッタリと収まるまで押し込んでください。

外マイク耳あな型

①



②



人差し指を上、親指を下にし、マイクが上を向くようにシェルを持ち、補聴器が耳の入口におさまるまでやさしく押し込んでください。

補聴器が耳の入口におさまるまでやさしくマイクチューブを耳の形状に沿わせて装着してください。

③



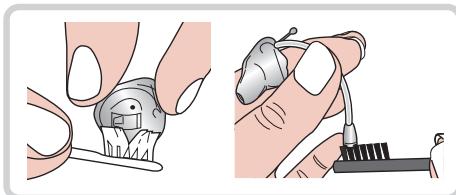
補聴器が正しく装着されると上図のようになります。もしマイクチューブが耳を刺激するようでしたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

日ごろのお手入れ

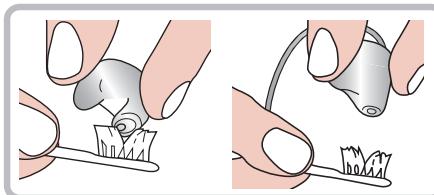
①毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。

音の入口



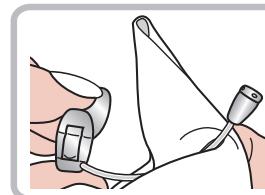
音の出口



ディンプルシェル



マイクチューブ



※ 耳あかが補聴器本体に入りこまないように、必ず清掃面を下に向けて掃除してください。

シェル表面に残った耳あかなどを耳あか掃除ブラシで取り除いてください。

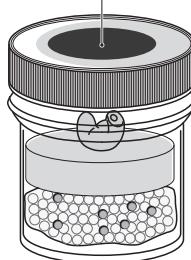
②耳あかガードの交換

通常のフィルタの掃除で取りきれないほど耳あかガードの網目がふさがってきたら、必要に応じて交換してください。
詳細についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

補聴器の保管について

補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。

電池置き場



注意・禁止事項

●熱を避ける



●湿気を避ける



注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 亂暴な扱い方は補聴器の故障の原因となります。床など固い面上落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。